

令和7年度第1回（第185回）

福岡市都市計画審議会

（その他諮問事項）

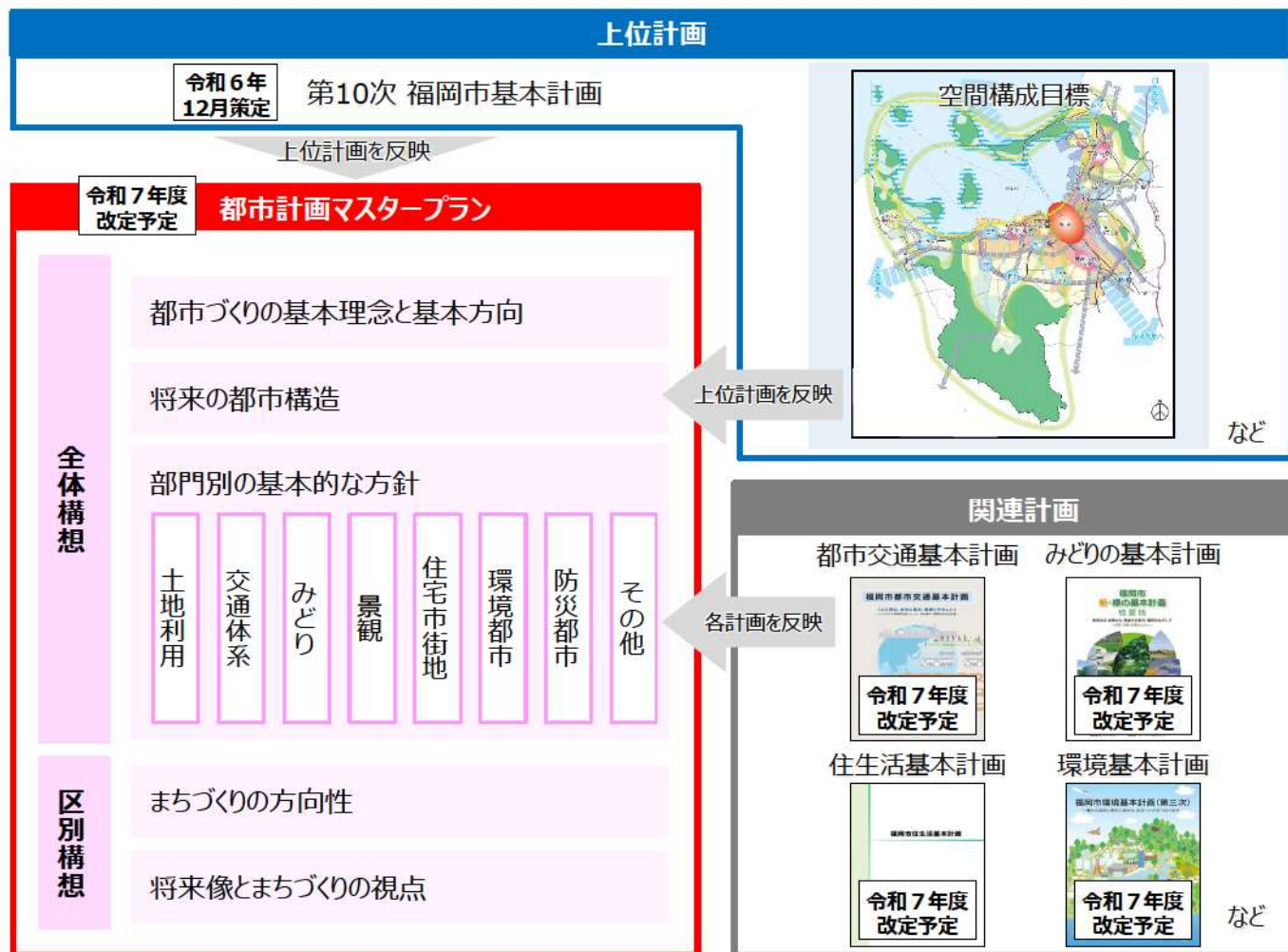
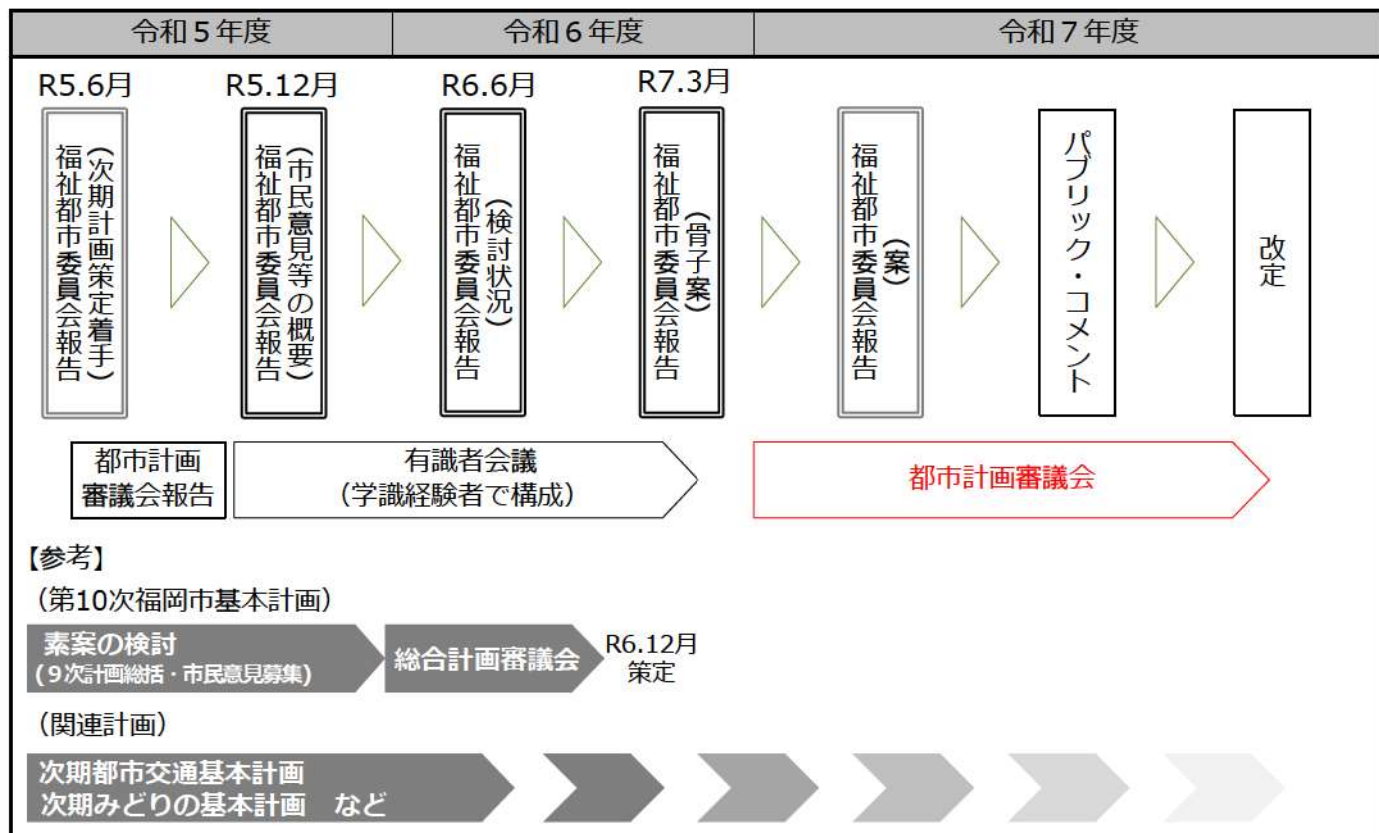
令和7年5月22日（木）

TKP エルガーラホール（中ホール）

福岡市都市計画マスタープランの骨子案について

1. 趣旨

都市づくりの指針となる「都市計画マスタープラン」の改定については、上位計画である福岡市基本計画や関連計画の検討と連携し、市民や議会、有識者等の意見を踏まえながら検討を進めていくこととしており、今回、骨子案についてお示しするもの。



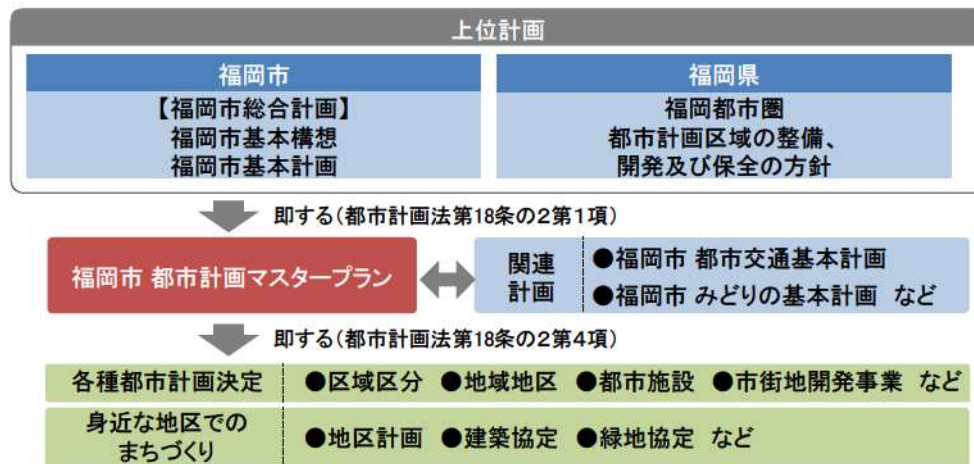
2. 骨子案について

1. 計画の概要

■ 位置づけ・役割

都市計画マスタープランは、福岡市基本計画等の上位計画に即して定める都市計画に関する基本的な方針（都市計画法に基づく法定計画）であり、

- ① 都市計画に係わる施策を総合的かつ体系的に展開していくための指針
- ② 地域主体による地域の特性や課題に応じたまちづくりに向けての基礎 として活用するもの。



■ 目標年次

令和16(2034)年度(上位計画である第10次福岡市基本計画と同じ)

2. 都市づくりの基本理念と基本方向

<これまでの振り返り>

- 現都市計画マスタープランの下、幹線道路等の都市基盤整備や拠点等における面的な市街地整備、都心部の機能強化などに取り組んできた。
- その結果、都市的魅力と豊かな自然環境が調和し、都心部を中心にコンパクトな市街地が形成されている。
- 生活の質の向上と都市の成長の好循環により、元気なまち、住みやすいまちとして、国内外から評価されている。

(社会情勢の変化)

少子高齢化の進展
価値観・ライフスタイルの多様化
脱炭素社会に向けた社会的要請
自然災害の激甚化・頻発化 など

(市民の意見)

経済振興・都心部に関する意見
環境・自然に関する意見
防災・都市基盤に関する意見 など

<改定の考え方>

- 都市づくりの指針として、本市の現状、社会情勢の変化、市民意見等を踏まえるとともに、第10次福岡市基本計画の検討と連動しながら改定を行う。
- 地域の課題解決やエリアの個性・強みを生かした魅力向上を図るため、地域のまちづくりの基礎として、市民にとってより分かりやすく親しみやすい内容としていく。

<都市づくりの基本理念と基本方向>

豊かな自然環境と充実した都市機能を備えた コンパクトでコントラストのある持続可能な都市を目指して



基本理念1 交流を育み、都市の成長を図る都市づくり

基本方向1 九州・アジアの交流拠点都市の形成

- ◆ 人流・物流を支える博多港、福岡空港、博多駅と高速道路などの広域交通ネットワークの連携強化など、九州・アジアの玄関口にふさわしい機能強化を図るとともに、舞鶴公園・大濠公園地区や九州大学箱崎キャンパス跡地などにおいて魅力・活力創造拠点の形成を図ります。
- ◆ また、農山漁村地域などの豊かな自然環境や神社仏閣等の歴史資源を生かし、魅力ある空間の形成を図ります。

基本方向2 都市活力を牽引する都心部の機能強化と魅力向上

- ◆ 都市活力を牽引する都心部において、建築物や道路、公園などの整備や更新のタイミングを捉え、市民をはじめ、エリアマネジメント団体・企業・行政などの多様な主体が連携しながら、都市機能と回遊性の向上を図るとともに、水辺や緑・文化芸術・歴史などにより、彩りと潤い、賑わいのある魅力的な都市空間の形成を図ります。
- ◆ また、多くの人や物が集中し交流する都心部を支える交通環境づくりに取り組みます。



基本理念2 地域の特性を生かし、生活の質を高める都市づくり

基本方向3 都市基盤を活用した地域の核となる拠点の機能強化

- ◆ 土地利用規制の適切な運用により、これまでに蓄積された都市基盤のストックを最大限に活用し、各拠点の特性に応じた都市機能の誘導を図るとともに、公共交通を主軸とした持続可能な総合交通体系づくりを進め、市民生活の核となる拠点の機能強化・連携を図ります。

基本方向4 子ども・若者から高齢者まですべての人が快適で住みやすい日常生活圏の形成

- ◆ 子ども・若者から高齢者までのすべての人が快適で心豊かに住み続けられる都市をめざして、地域の特性に応じた良好な住環境や魅力的な景観の形成、地域の生活を支える交通環境づくりに取り組みます。
- ◆ また、良好な市街地環境の形成や集落コミュニティの維持・活性化等に向け地域主体のまちづくりへ積極的な支援を行います。



基本理念3 人と自然が共生し、安全・安心な暮らしができる都市づくり

基本方向5 環境にやさしく、みどり豊かな都市の形成

- ◆ 恵まれた自然環境の保全をはじめ、緑の創出や、省エネルギー化、再生可能エネルギーの利用拡大、公共交通機関の利用促進などにより、脱炭素社会の実現、循環経済の確立、生物多様性の保全・回復・創出に一体的に取り組む持続可能なまちづくりを進めます。

基本方向6 災害に強く安全・安心な都市空間の形成

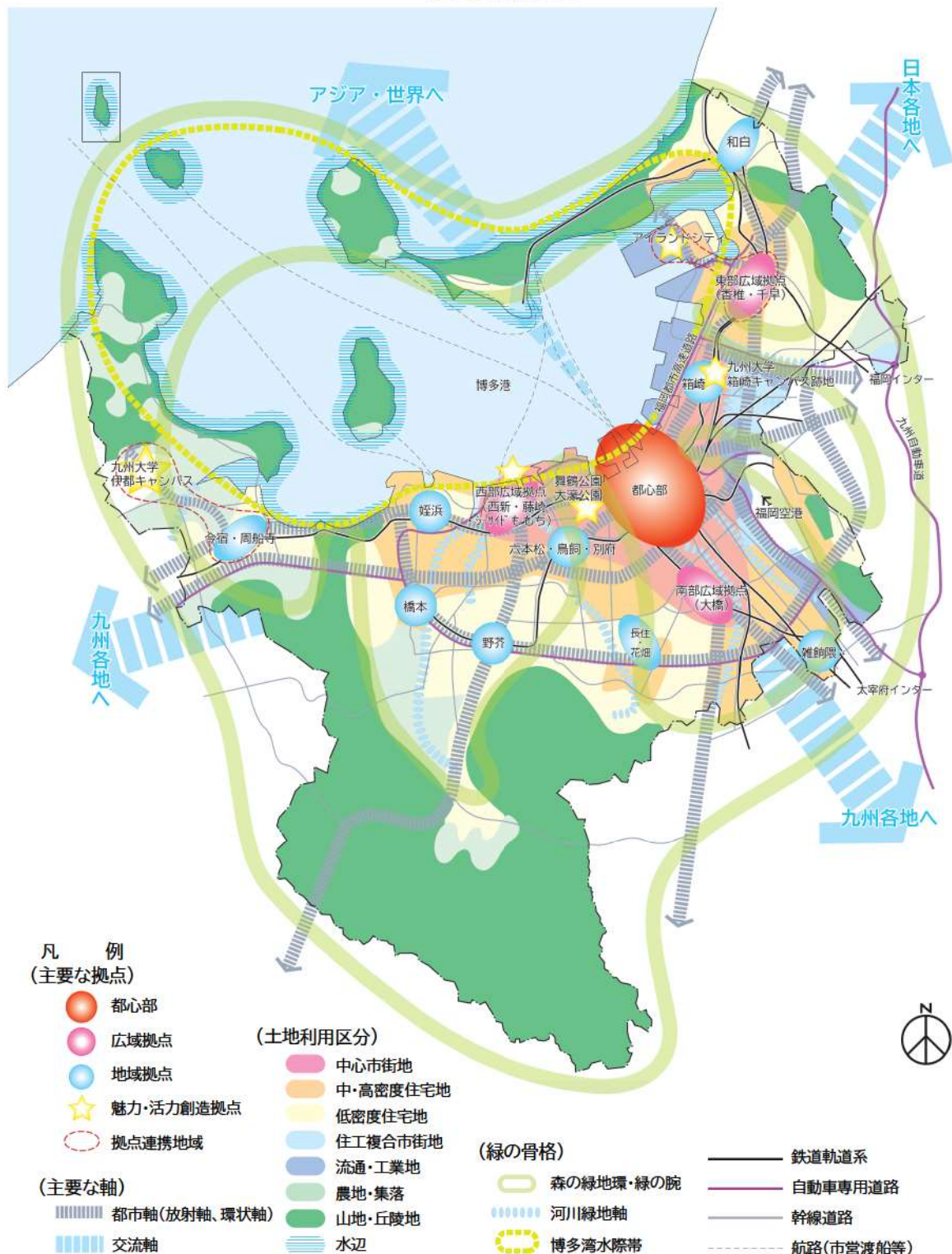
- ◆ 道路、上下水道、河川、公園などの都市基盤の整備をはじめとして、ハード・ソフトの両面から災害に強いまちづくりを進めます。
- ◆ また、施設の計画的かつ効率的な維持管理・更新に取り組み、安全・安心な都市空間の形成を図ります。

3. 将来の都市構造

めざす姿

- ◆ 海や山に囲まれた地形的な特徴を生かし、都心部を中心にコンパクトな市街地が形成され、都市的魅力と豊かな自然環境が調和し、安全・安心な暮らしのもと、市民が日常的にそれを楽しんでいます。
- ◆ 福岡市の都市活力を牽引する「都心部」、都市の成長を推進する「魅力・活力創造拠点」、界限性のある街空間の中で市民生活が営まれる「広域拠点」「地域拠点」「日常生活圏」、豊かな自然環境を継承する「農山漁村地域」など、それぞれのエリアの個性や強みが生かされ、交通ネットワークにより移動の円滑性が確保された「コンパクトでコントラストのある都市」が実現しています。

都市空間構想図



都心部

- ◆ 都市活力の中心及び国際交流のゲートウェイとして、国際競争力を備えた商業・業務、観光・MICE、文化、港湾など高度な都市機能、広域交通機能が集積しています。
- ◆ 水辺や通り、広場などのオープンスペースは、花や緑、文化芸術などにより、彩りと潤いがあり、多様な人と企業が集積・交流しています。

都心部の都市構造



地域の拠点

- ◆ 市民生活の核となる拠点には、まちの歴史や生活圏域、交通結節機能など、拠点の特性に応じて、市民生活に必要な都市機能が適正に集約されています。

東部・南部・西部の「広域拠点」

- ・交通結節機能の高さを生かし、都市活力を担いつつ、行政区や市域を越えた広範な生活圏域の中心として、商業・業務機能や市民サービス機能など諸機能が集積しています。

「地域拠点」

- ・区やそれに準ずる生活圏域の中心として、日常生活に必要な商業機能や市民サービス機能など諸機能が集積しています。

日常生活圏

- ◆ 公民館を拠点として、自治協議会を中心に地域コミュニティが形成される日常生活圏では、市民の良好な居住環境と日常生活に必要な基本的な生活利便性が確保されています。

- ◆ 拠点の特性に応じて、物流、情報、研究開発など、福岡市の成長を推進する多彩な都市機能が集積しています。

「アイランドシティ」

- ・豊かな自然に恵まれ、環境に配慮した先進的モデル都市及びコンテナターミナルと一体となった国際物流拠点を形成しています。

「九州大学箱崎キャンパス跡地」

- ・多様な都市機能やゆとりある空間、先端技術の導入などにより、快適で質の高いライフスタイルを創出しています。

「舞鶴公園・大濠公園地区」

- ・都心部に近接した貴重な緑地空間として、市民の憩いの場となり、また、歴史資源を生かし、文化芸術と融合した観光・交流拠点を形成しています。

「シーサイドももち」

- ・福岡市の情報関連産業の集積拠点となり、また、文化・エンターテインメントなどの既存資源を生かした観光・MICEの拠点を形成しています。

「九州大学伊都キャンパス及びその周辺」

- ・系島半島を圏域とする九州大学学術研究都市の核として、学生や研究者などが新たな知を創造、発信する研究開発拠点となり、また、産学官が連携した新たなビジネスやイノベーションの創出拠点を形成しています。

魅力・活力創造拠点

農山漁村地域

- ◆ 農林水産業の営みや既存集落が維持・活性化されるとともに、美しい自然景観を生かした市民や観光客の憩いの場になり、福岡市の豊かな自然環境が市民の財産として継承されています。

交通ネットワーク

- ◆ 陸海空の広域交通ネットワークを備える都心部を中心に、それぞれの拠点間は公共交通機関でネットワークされ、拠点内やその周辺では身近な生活交通が確保されることで、多様な都市活動や市民生活を支える移動が円滑に行われています。

4. 部門別の基本的な方針

※ 現在、各部門の関連計画の検討が進められており、今後とも、これらの検討状況を反映させていく。

土地利用

① 都市と自然が調和したコンパクトで暮らしやすいまち

- ◆ 市域周辺部の山地などの貴重な自然環境の保全に努める
- ◆ 都心部から周辺部にかけての段階的な密度構成によるメリハリのきいた、ゆとりと潤いのある市街地の形成を図る
- ◆ 拠点の特性に応じた主要用途の配置と適正な機能の集積・強化を図る
- ◆ 市街化調整区域における市街化の抑制と計画的なまちづくりの誘導を図る

<取組みの基本的な方針>

- ・概ね標高80m以上の区域などの開発抑制
- ・市街化調整区域の自然環境や農地の保全
- ・自然が有する防災・減災など多様な機能の確保・活用
- ・自然海岸や干潟環境などの保全・活用
- ・区域区分や用途地域などの適切な運用
- ・市街化調整区域の活性化 など

② 充実した都市機能や豊かなみどりなどにより多くの人や企業から選ばれるまち

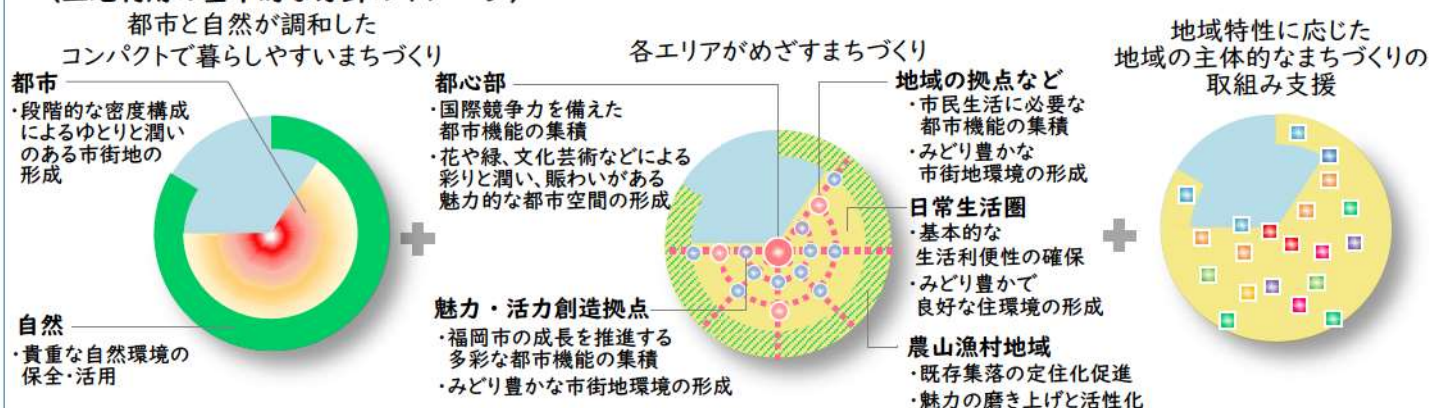
- ◆ 都心部における国際競争力を備えた都市機能の集積、回遊性の向上、花や緑、文化芸術、水辺、歴史などによる彩りと潤い、賑わいがある魅力的な都市空間の形成を図る
- ◆ 魅力・活力創造拠点における福岡市の成長を推進する多彩な都市機能の集積、みどり豊かな市街地環境の形成を図る

<取組みの基本的な方針>

(都心部)

- ・商業・業務、観光・MICEなどの高度な都市機能の集積
- ・花や緑、アートによる魅力的なまちづくり
- ・水辺や歴史など貴重な資源を生かしたまちづくり
- ・利便性の高い立体的な歩行者ネットワークの充実・強化
- ・快適で高質な歩行者空間の創出 など
- (魅力・活力創造拠点)
- ・拠点の特性に応じた物流、情報、研究開発などの多彩な都市機能の集積
- ・身近なみどりの保全・創出 など

<土地利用の基本的な方針のイメージ>



③ 誰もが安全・安心で快適に暮らせるまち

- ◆ 地域の拠点などにおける市民生活に必要な都市機能の集積、みどり豊かな市街地環境の形成を図る
- ◆ 日常生活圏における基本的な生活利便性の確保、みどり豊かで良好な住環境の形成を図る

<取組みの基本的な方針>

- ・地域の拠点における商業・業務機能の充実・強化
- ・良好な住環境の保全・形成
- ・地域特性に応じた生活利便性の確保
- ・身近なみどりの保全・創出 など

④ 農山漁村地域の魅力を生かしたまち

- ◆ 人口減少・高齢化が進行する既存集落における定住化の促進に取り組む
- ◆ 身近に触れられる豊かな自然環境を農山漁村地域の魅力として磨き上げ、観光振興などによる地域活性化に取り組む

<取組みの基本的な方針>

- ・地域コミュニティの維持・活性化に向けた定住化促進
- ・空き家・空き地などの既存ストックの有効活用
- ・土地利用の規制緩和制度の活用による地域産業振興 など

⑤ 地域特性に応じた地域の主体的なまちづくりの取組み支援

- ◆ 市民などと共働したみどり豊かで良好な市街地環境の形成や集落コミュニティの維持・活性化などに向けた地域の主体的なまちづくりの取組みを支援する

<取組みの基本的な方針>

- ・多様な主体との共働によるまちづくりの推進
- ・まちづくりルール策定などの取組み支援 など

交通体系づくり

① 公共交通を主軸とした持続可能な総合交通体系の構築

- ◆公共交通を主軸とし多様な交通手段が相互に連携した持続可能な総合交通体系の構築に取り組む
- ◆市民生活を支え、来街者にも分かりやすく使いやすい交通体系づくりに取り組む

<取組みの基本的な方針>

- ・持続可能で効率的な公共交通ネットワークの構築
- ・交通結節機能の充実・強化
- ・シェアリングモビリティの利活用
- ・公共交通の利便性向上と利用促進
- ・自転車や徒歩で移動しやすい交通環境づくり

など

② 都市の魅力・活力を高める交通

- ◆エリアの個性や強みが生かされた拠点への交通ネットワークの充実・強化に取り組む
- ◆多くの人や物が集中し交流する都心部を支える交通環境づくりに取り組む

<取組みの基本的な方針>

- ・拠点へのアクセス強化
- ・幹線道路ネットワークの形成
- ・道路交通の円滑化
- ・都心部への自動車流入の抑制
- ・自然などの地域資源等への観光周遊を促す交通環境づくり

など

③ 市民の日常を支え、誰もが安全・安心な交通

- ◆地域の実情に応じた生活交通の確保に取り組む
- ◆子どもから高齢者まですべての人にやさしい安全・安心な交通環境づくりに取り組む
- ◆災害に強い交通基盤づくりに取り組む

<取組みの基本的な方針>

- ・生活交通の維持・確保
- ・公共交通や道路のバリアフリー化の推進
- ・安全・安心な道路整備
- ・災害に強い交通基盤づくり

など

④ 環境にやさしい交通

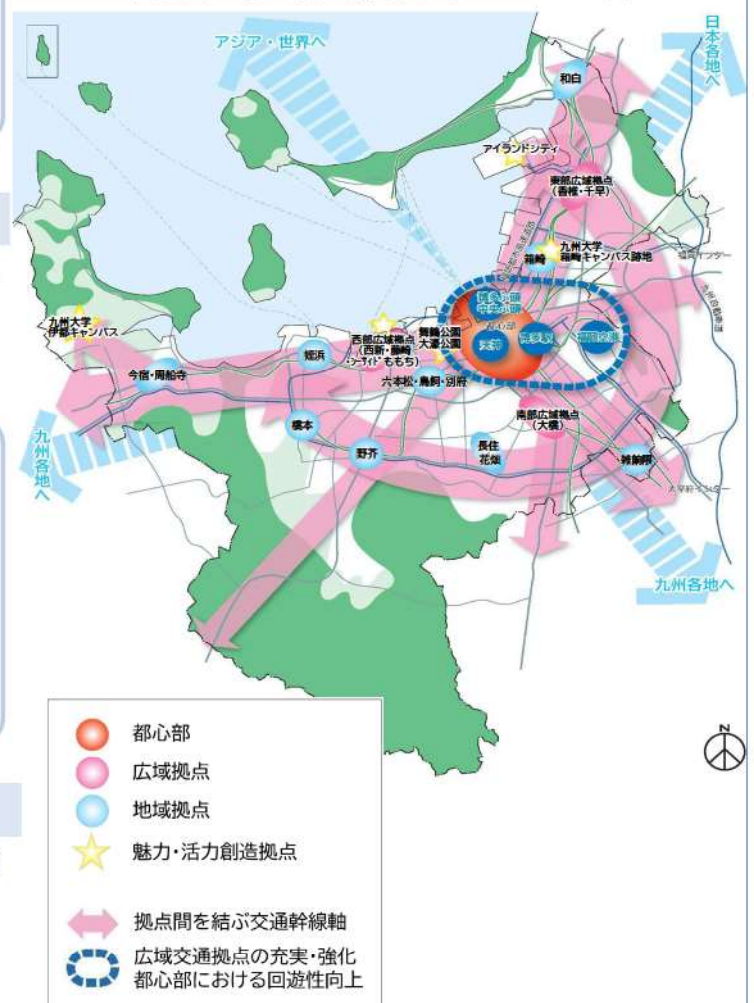
- ◆環境にやさしい交通環境づくりに取り組む

<取組みの基本的な方針>

- ・公共交通や自動車の脱炭素化
- ・公共交通の利便性向上と利用促進
- ・自転車や徒歩で移動しやすい交通環境づくり

など

拠点間を結ぶ交通幹線軸ネットワーク図



みどりづくり

① みどりの骨格を守る

- ◆市民の生活基盤を形成している「みどりの輪」、
「みどりの帯」の保全と質の向上
- ◆多様な主体による樹林地の保全・管理活動の充実、
自然体験の場の創出
- ◆市民の憩いの場、多様な生物の生息地となっ
ている「博多湾水際帯」の保全

② 山と海をみどりの道で結ぶ

- ◆ 水とみどりの美しい景観を形成し、生物の生育・生息空間となる河川の保全
- ◆ みどりのネットワークの充実に取り組み、みどりの連続性の確保
- ◆ 農地の保全や活用

③ みどり豊かな拠点を創る

- ◆ 都心部や大規模な公園などにおける、みどりあふれる憩いや賑わいの拠点の創出
- ◆ みどりを効果的に取り入れることで、歩いて楽しいまちなみの創出
- ◆ 公共施設や民有地など、様々な場所でみどりによる潤いや安らぎが感じられるまちづくり

④ 身近な暮らしの中のみどりを活かす

- ◆ 多様な主体の参画のもと、使いやすく利用してもらえるような公園などの整備、管理や運営体制の充実を図り、誰もが愛着を持てるまちづくり
- ◆ 身近な生活において、安らぎを感じられる、癒しのあるまちづくり
- ◆ みどりを通した文化的な生活を育み、風格あるまちの醸成

⑤ みどりで安全・安心なまちを支える

- ◆ 様々な防災機能を高めるため、みどりの保全や整備、適正な管理
- ◆ 災害時の避難場所などとなるみどりの確保や、救助・復興活動の拠点としての機能を発揮する公園づくり
- ◆ 利用者の安全確保や防犯機能の強化

⑥ 行政・市民・企業など様々な主体が
みどりのまちづくりに携わる

- ◆みどりのまちづくり活動を始めたくなるきっかけづくり
- ◆多様な主体が活動に参加しやすい場づくりや、活動の促進、継続のための支援
- ◆みどりのまちづくりを牽引する人材の育成や、みどりに関する多様な主体との連携強化

みどりの将来像図



景観づくり

① 九州・アジアの交流拠点にふさわしい魅力ある 景観づくり

- ◆ 風格、賑わい、潤いのある景観づくり
- ◆ 市民や来街者が歩いて楽しめる賑わいや界限性などを感じられる景観づくり
- ◆ 市民やエリアマネジメント団体など地域団体との共働による景観づくり

② みどりを守り、創り、生かした景観づくり

- ◆花や緑、水辺など豊かな自然を守り、創り、生かす、潤いのある景観づくり
- ◆豊かな自然を感じる景観づくり
- ◆質の高いパブリックスペースの形成に向けたみどりを生かした景観づくり
- ◆市民や地域団体との共働による景観づくり

③ 計画的なまちづくりにあわせた賑わいと活気のある景観づくり

- ◆ 市民や地域団体との共働による個性を生かした景観づくり
- ◆ 周辺の自然環境やまちなみと調和のとれた景観づくり

④ 歴史と文化を守り生かす、刻の厚みを感じられる
景観づくり

- ◆歴史的な建造物を中心に高さや形態、意匠などを誘導するなど、福岡らしい景観づくり
- ◆歴史資源を生かしたまちづくりへの市民の関心の向上など、市民や地域団体との共働による景観づくり
- ◆道路など公共空間の景観整備による歴史資源を生かした景観づくり

住宅市街地づくり

① 住み続けられる良好な住環境の保全・形成

- ◆都市構造や交通・上下水道・教育環境などの都市基盤を踏まえた土地の有効利用
- ◆地域との共働による地域特性に応じた良好な住環境の保全・形成
- ◆より質の高い住宅地の形成に向けた地域主体のまちづくりの支援

② みんなにやさしい居住環境の形成

- ◆高齢者世帯が住みやすい居住環境の整備
- ◆子育て世帯が住みやすい居住環境の整備
- ◆ユニバーサルデザインの理念による住まいづくり・まちづくりの推進

③ 住宅セーフティネットの充実

- ◆住宅確保要配慮者の住まいの確保
- ◆住宅確保要配慮者に対する居住支援の充実

④ 豊かさや安全・安心をそなえた住生活の実現

- ◆安全・安心な住生活を実現する住まいづくり・まちづくりの推進
- ◆環境に配慮した住まいづくりの推進
- ◆住生活を支えるコミュニティの形成促進
- ◆住み続けられる居住環境の整備

⑤ 良質な住宅ストックの将来への継承

- ◆良好なマンションの形成に向けた取組みの推進
- ◆空き家等対策に向けた取組みの推進

環境都市づくり

① カーボンニュートラルを実装したまちづくり

- ◆次世代型太陽電池の導入や蓄電池の活用などによる再生可能エネルギーの地産地消
- ◆IoT等を活用したエネルギーマネジメントによる効率的なエネルギーの利用
- ◆都市資源を活用した水素の利用や次世代自動車の充電ステーションなど脱炭素型のインフラの整備

② 地球にやさしい循環のまちづくり

- ◆先端技術等を活用した水平リサイクルなどの資源の循環利用促進
- ◆少子高齢化等の社会変化に対応した廃棄物や資源物の収集・運搬・処理体制の構築
- ◆清掃工場の熱エネルギーや廃食油などの都市資源の地域の循環経済への活用

③ 多様性にあふれた自然共生のまちづくり

- ◆生態系に配慮した花や緑、親水空間にあふれ、質の高い生活空間やビジネス環境の実現
- ◆森林や農地、都市内緑地や博多湾など、生きものの生息・生育環境のつながりを意識した生物多様性の回復・創出
- ◆自然が有する調整機能を活かした防災・減災など、生態系を活用した持続可能なまちづくり

④ 安全で良質な生活環境のまちづくり

- ◆大気環境の監視や適切な情報提供と大気汚染物質の発生源対策や調査・研究
- ◆自動車騒音などの環境騒音に対する関係機関と連携した総合的な対策
- ◆モラルマナーの向上とごみのない美しいまちづくり

防災都市づくり

① 水害に強い都市づくり

- ◆河川改修による流下能力の向上
- ◆下水道による総合的な浸水対策の推進
- ◆森林、水田、ため池などの活用や雨水貯留・浸透施設の整備などの流域治水の推進

② 震災に強い都市づくり

- ◆公共建築物や公共土木構造物などの耐震性能の確保
- ◆老朽建築物の建替えや耐震化・不燃化による安全な市街地の形成
- ◆警固断層周辺部における建物の耐震化の促進

③ 安全・安心な避難場所の確保

- ◆市民や来街者などが安全に避難できる避難場所の確保
- ◆すべての人に対する適切な配慮による安心な避難場所の確保

④ 安全な避難路・緊急輸送道路などの確保

- ◆市民や来街者などが安全に避難できる避難路の確保
- ◆災害応急対策に必要な物資の輸送などが実施できる緊急輸送道路の確保

5. 区の主なまちづくりの方向性など

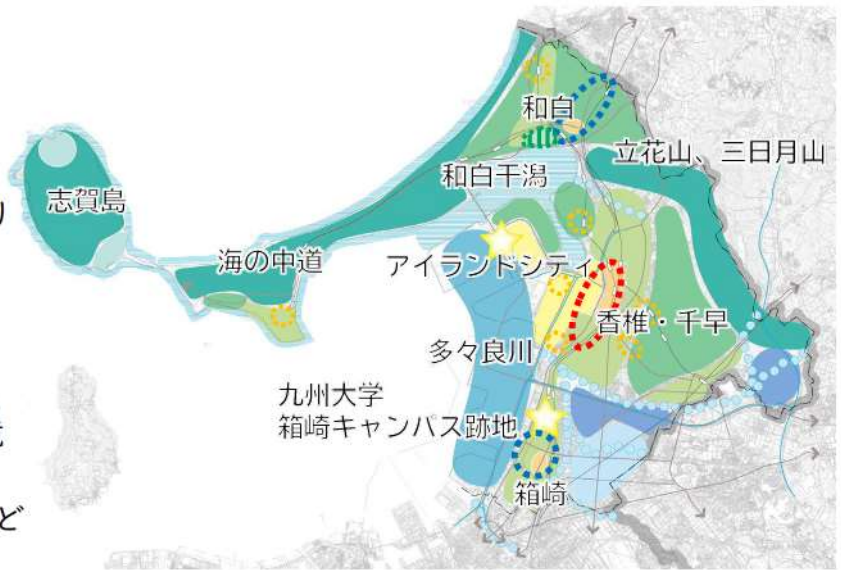
拠点・ゾーン	凡例	将来像
都心核		・高質なビジネス環境の創出や、彩りと潤い、賑わいなどの魅力がある地区（天神） ・博多駅の活力と賑わいが周辺につながる地区（博多駅周辺） ・MICE機能や国際・国内旅客ターミナル機能が充実し、多様な人が集い交流する地区（中央ふ頭・博多ふ頭）
都心拠点		・ビジネス機能などが集積し、周辺環境と調和した地区（渡辺通） ・文化、スポーツ、食、緑や水辺など多様な魅力を生かした人々が憩い・集う地区（天神北） ・文化機能と飲食街の集積を生かしたにぎわいがある地区（中洲川端） ・歴史・伝統を生かした博多の歴史を伝える地区（博多部）
広域拠点		・商業・業務機能などが集積する拠点
地域拠点		・日常生活に必要な諸機能が集積する拠点
生活商業地		・日用品の買い物をする店舗などが集積するまち
魅力・活力創造拠点		・環境に配慮した先進的モデル都市 コンテナターミナルと一体となった国際物流拠点（アイランドシティ） ・快適で質の高いライフスタイルを創出する拠点（九州大学箱崎キャンパス跡地） ・都心部に近接した市民の憩いの場 歴史資源を生かし、文化芸術と融合した観光・交流拠点（舞鶴公園・大濠公園地区） ・情報関連産業の集積拠点 文化・エンターテインメントなどの既存資源を生かした観光・MICEの拠点（シーサイドももち） ・新たな知を創造・発信する研究開発拠点 新たなビジネスやイノベーションの創出拠点（九州大学伊都キャンパス及びその周辺）
空港周辺ゾーン		・商業施設・業務施設が集積する空の玄関口
拠点等周辺ゾーン		・計画的まちづくりの検討が進められ、周辺環境と調和したまち

ゾーン	凡例	現況
都心核周辺ゾーン		・都心核周辺の商業施設・業務施設と中高層住宅が立地するまち
複合市街地ゾーン		・住宅を中心に商業施設・業務施設が立地する市街地
中高層住宅ゾーン		・大規模な住宅団地などの中層住宅や高層住宅が立地する住宅地
低中層住宅ゾーン		・低層住宅が大部分を占め、一部中層住宅などが立地する住宅地
低層住宅ゾーン		・主として戸建住宅などの低層住宅が立地する住宅地
住工複合ゾーン		・工場や倉庫などの工業系の施設と住宅が立地するまち
流通・工業ゾーン		・工場や倉庫などの工業系の施設が集積するまち
港湾機能ゾーン		・市民生活や地域経済を支える海上物流機能が集積するみなと（東区・中央区） ・国内外を結ぶ海上アクセスが集積するみなと（中央ふ頭・博多ふ頭）
移転跡地等ゾーン (空港周辺)		・空港周辺の移転補償跡地と一部民有地が混在するまち
農業・集落ゾーン		・農地が広がり、農村集落などが分布するまち
山地・丘陵地		・各地域の山々の豊かな自然環境を有する森林空間 ・市民のスポーツとレクリエーションの場となる東平尾公園などの丘陵地（博多区）
緑地・丘陵地		・西公園から油山までつながる豊かな緑（中央区）
水辺		・自然海岸や豊かな干潟環境
都市型ウォーターフロントゾーン		・市民が海とふれあい、楽しめる都市型ウォーターフロント

東区

- ◆香椎・千早、和白、箱崎における拠点の特性に応じたまちづくり
- ◆アイランドシティ、九州大学箱崎キャンパス跡地における魅力・活力創造拠点づくり
- ◆快適で心豊かに住み続けられる日常生活圏の形成
- ◆市街化調整区域の活性化
- ◆志賀島や海の中道、和白干潟、多々良川、立花山、三日月山などの豊かな自然環境の保全・活用

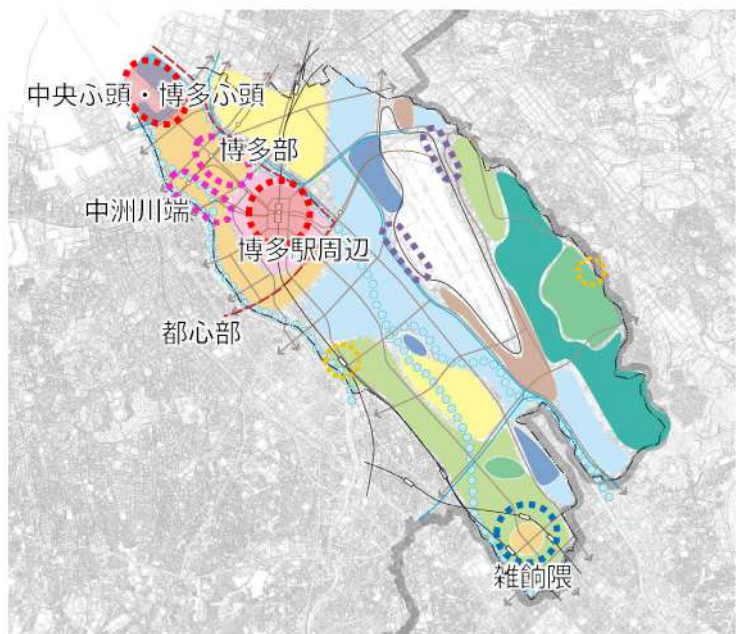
など



博多区

- ◆博多駅周辺、中央ふ頭・博多ふ頭を核とした都心部の都市機能と回遊性の向上
- ◆都心部における彩りと潤い、賑わいのある魅力的なまちづくり
- ◆広域交通拠点の機能強化と都心部の交通環境の充実
- ◆櫛田神社などの神社仏閣等を生かした歴史的な街並みの形成
- ◆雑餉隈における拠点の特性に応じたまちづくり

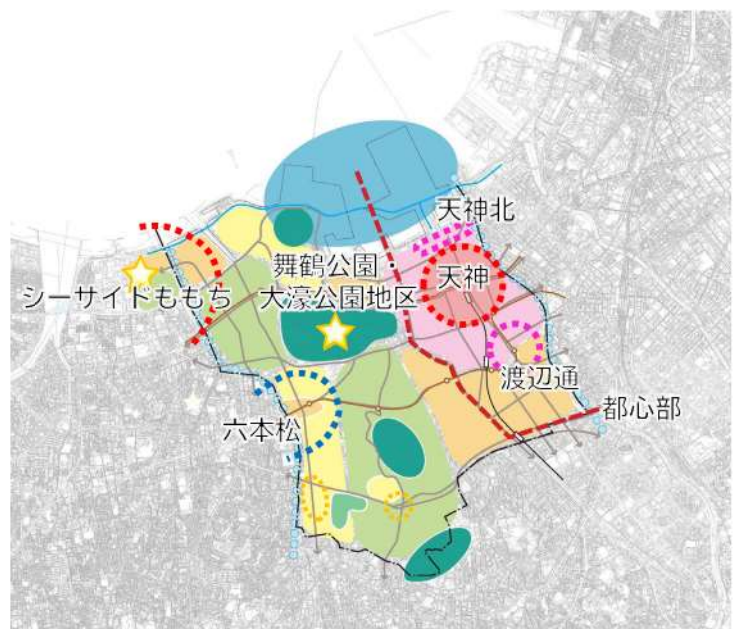
など



中央区

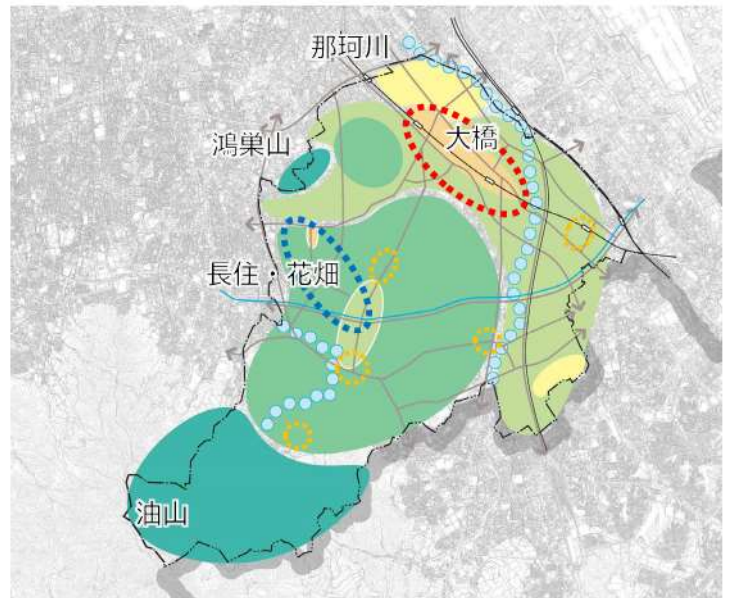
- ◆天神を核とした都心部の都市機能と回遊性の向上
- ◆都心部における彩りと潤い、賑わいのある魅力的なまちづくり
- ◆都心部の交通環境の充実
- ◆六本松における拠点の特性に応じたまちづくり
- ◆舞鶴公園・大濠公園地区における市民の憩いの場づくりや、歴史資源を生かし、文化芸術と融合した観光・交流拠点づくり

など



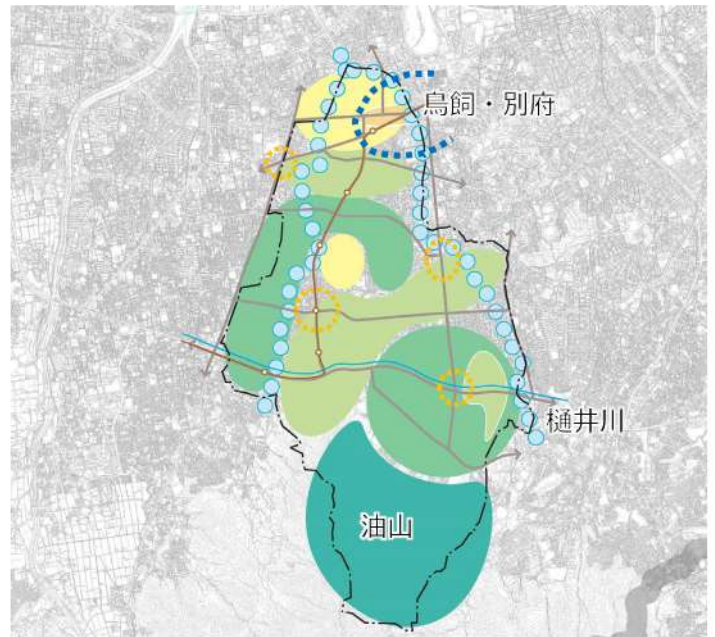
南区

- ◆大橋、長住・花畑における拠点の特性に応じたまちづくり
- ◆快適で心豊かに住み続けられる日常生活圏の形成
- ◆油山、鴻巣山などの豊かな自然環境の保全・活用
- ◆那珂川、ため池などの身近な水辺空間の保全・活用
- ◆大学などの多様な主体と連携したまちづくりなど



城南区

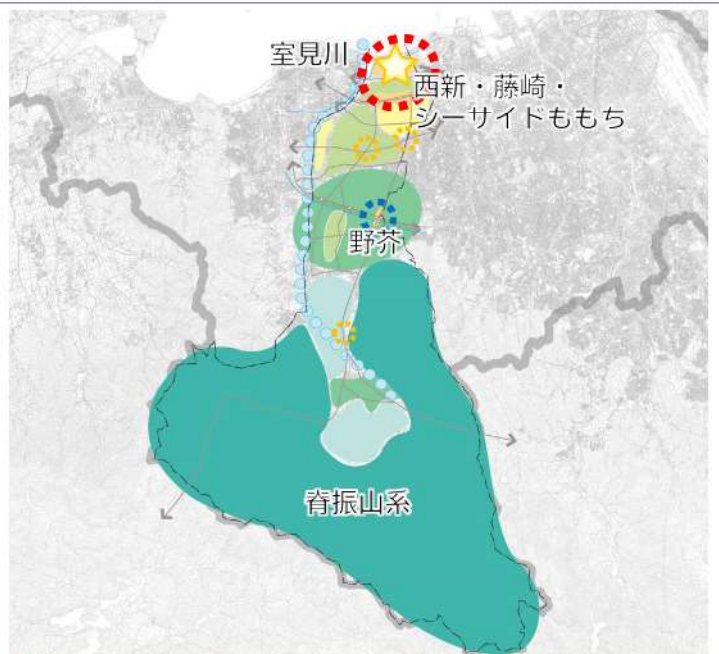
- ◆鳥飼・別府における拠点の特性に応じたまちづくり
- ◆快適で心豊かに住み続けられる日常生活圏の形成
- ◆油山などの豊かな自然環境の保全・活用
- ◆樋井川、ため池などの身近な水辺空間の保全・活用
- ◆大学などの多様な主体と連携したまちづくりなど



早良区

- ◆西新・藤崎・シーサイドももち、野芥における拠点の特性に応じたまちづくり
- ◆シーサイドももちにおける情報関連産業の集積拠点や観光・MICEの拠点づくり
- ◆快適で心豊かに住み続けられる日常生活圏の形成
- ◆市街化調整区域の活性化
- ◆脊振山系、室見川などの豊かな自然環境の保全・活用

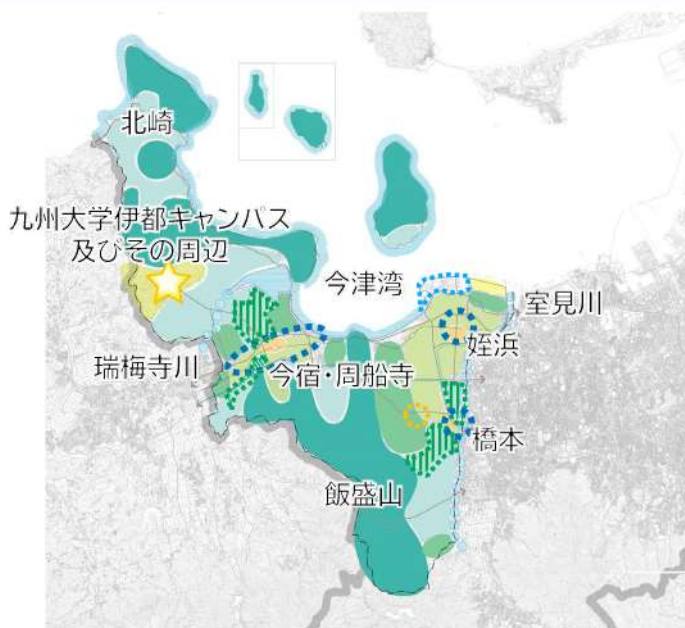
など



西区

- ◆ 姪浜、橋本、今宿・周船寺における拠点の特性に応じたまちづくり
- ◆ 九州大学伊都キャンパス及びその周辺における研究開発拠点や新たなビジネスやイノベーションの創出拠点づくり
- ◆ 快適で心豊かに住み続けられる日常生活圏の形成
- ◆ 市街化調整区域の活性化
- ◆ 北崎などの自然海岸や飯盛山、今津湾、室見川、瑞梅寺川などの豊かな自然環境の保全・活用

など



6. 都市づくりの指標

今後、第10次福岡市基本計画や関連計画などを踏まえつつ、都市づくりの指標についても、検討を進めていく。

基本理念1

交流を育み、都市の成長を図る都市づくり

<指標例>

- ・自然、歴史、文化芸術、食などの魅力的な観光資源があると感じている市民の割合
- ・都心部にオフィス、商業施設、緑などが充実し、賑わいがあると感じている市民の割合
- ・入込観光客数
- ・都心部の1日あたりの歩行者交通量

など

基本理念2

地域の特性を生かし、生活の質を高める都市づくり

<指標例>

- ・市内の各拠点が充実し、公共交通でつながっていると感じている市民の割合
- ・身近に花や緑があり、潤いと安らぎを感じている市民の割合
- ・1日あたりの鉄道・バス乗車人員
- ・公共公益施設のみどりの面積

など

基本理念3

人と自然が共生し、安全・安心な暮らしができる都市づくり

<指標例>

- ・海と山などの豊かな自然と都市的な魅力のバランスがとれていて暮らしやすいと感じている市民の割合
- ・道路や河川などの整備、地域のつながりなどにより、災害への備えができていると感じている市民の割合
- ・全市域におけるみどりの面積（うち、永続性のあるみどりの面積）
- ・浸水対策重点地区のうち、整備完了地区

など

3. 今後の進め方

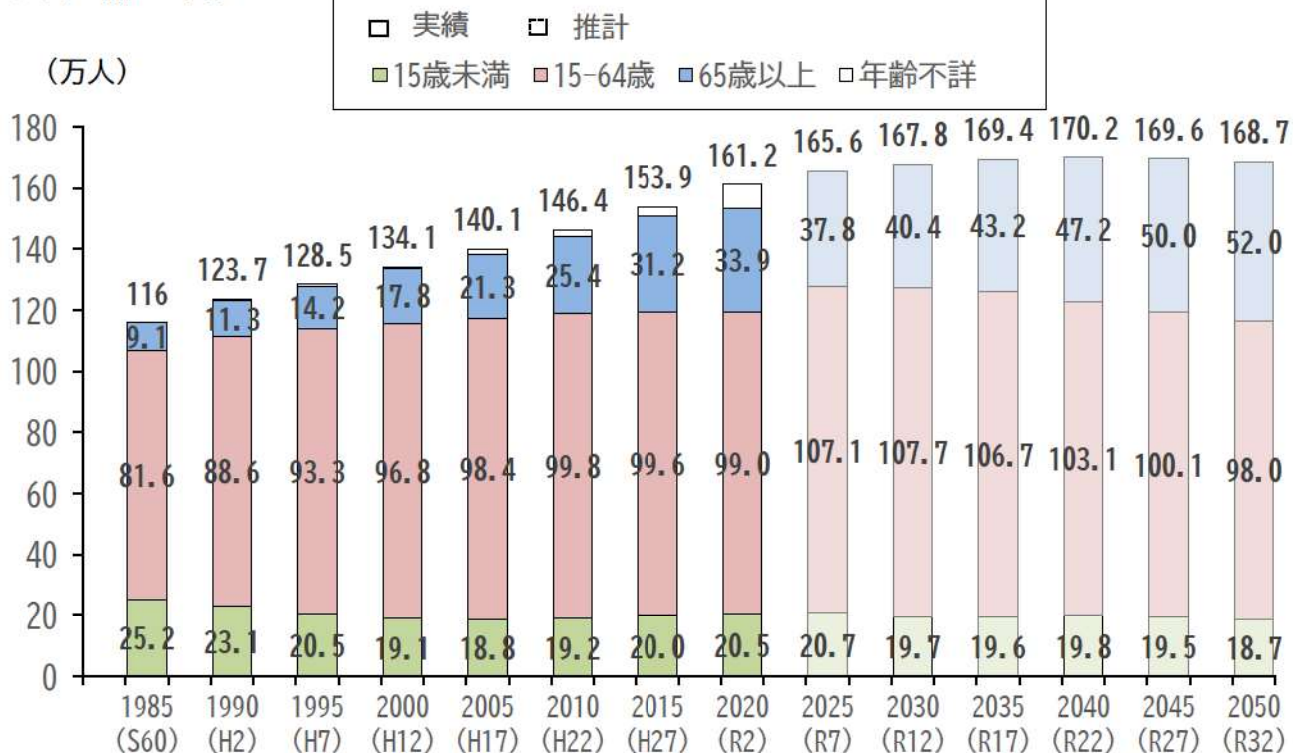
令和7年度の改定に向け、今後とも、関連計画の検討等と連携し、市民や議会、有識者等の意見を踏まえながら、検討を進めていく。

■ 人口等

(1) 福岡市の人口

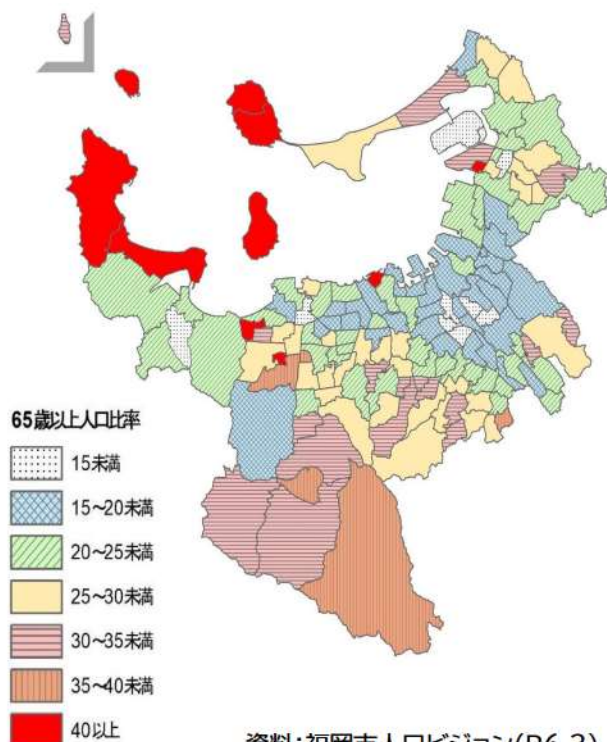
- ・福岡市における総人口のピークは、2040(令和22)年頃で約170万人に達する見込み。
- ・全市の高齢化率が約22%の中で、郊外部の高齢化率が高くなっている。
- ・都心部や拠点、鉄道沿線などを中心に人口密度が高くなっている。

◇ 人口構造の変化



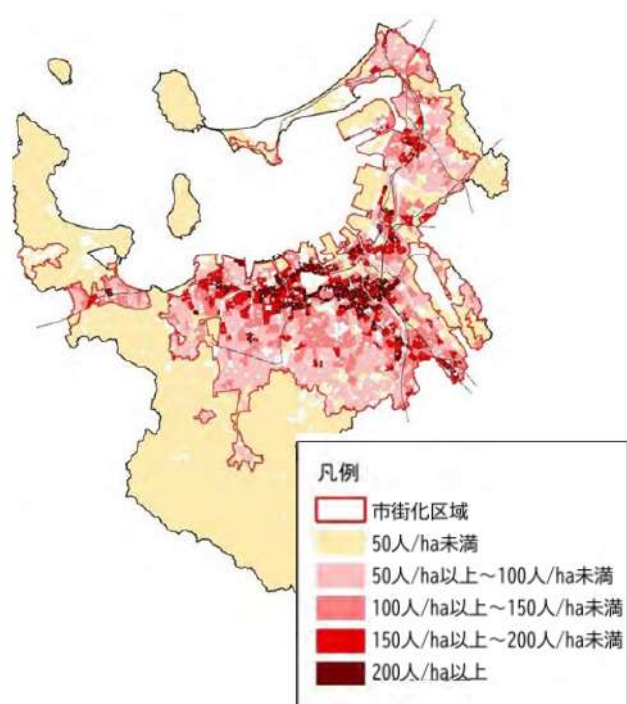
資料:国勢調査、福岡市の将来人口推計

◇ 高齢化率



資料:福岡市人口ビジョン(R6.3)

◇ 人口密度

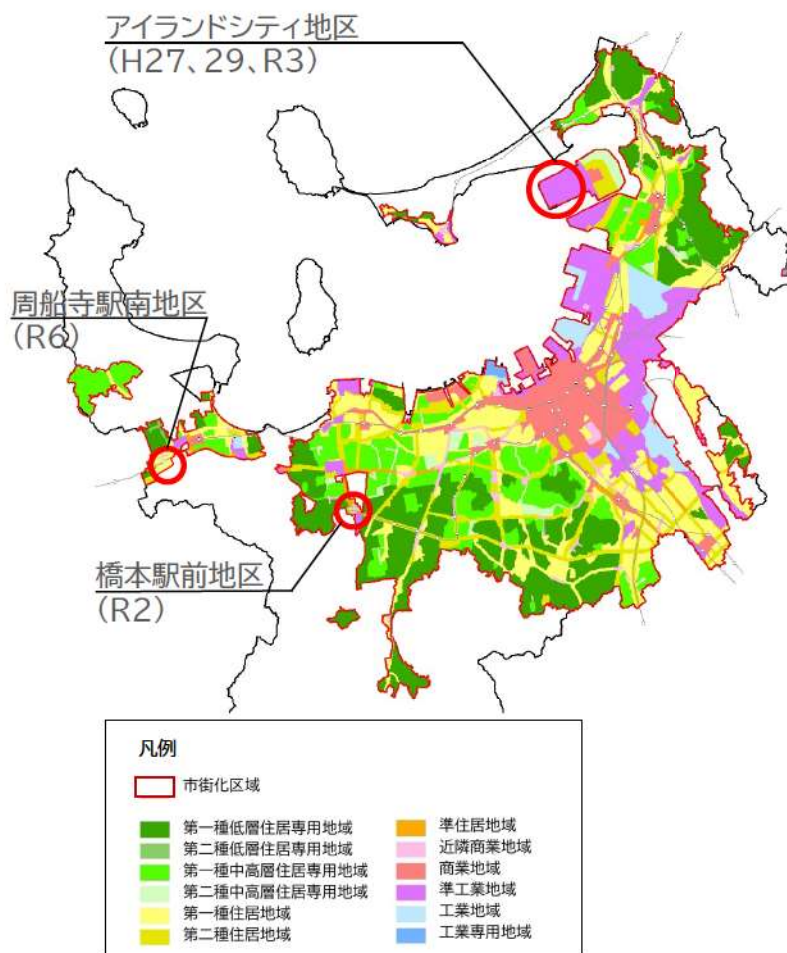


資料:国勢調査(R2)

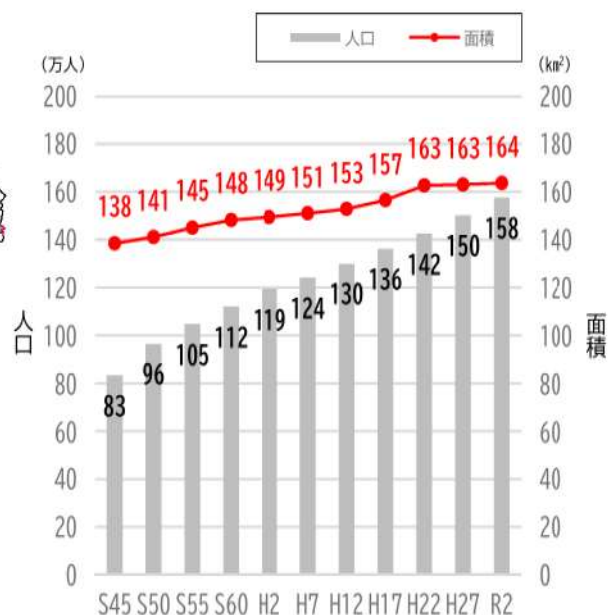
(2) 用途地域の指定状況等

- ・区域区分や用途地域などの適切な運用により、コンパクトな市街地を形成。

◇ 用途地域の指定状況と近年の市街化区域への編入状況

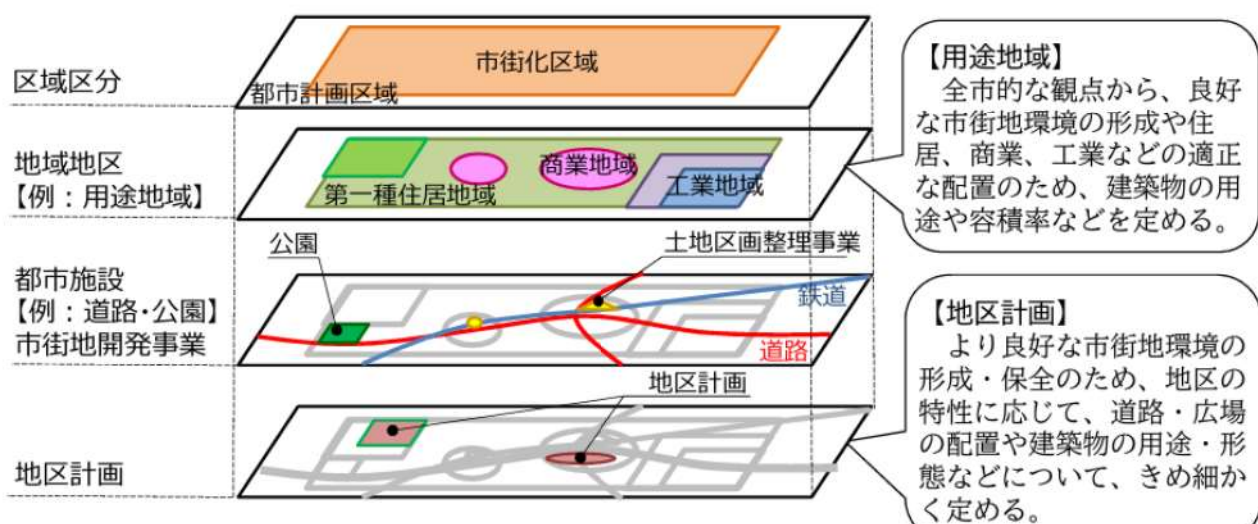


◇ 市街化区域の人口と面積の推移



資料：国勢調査、令和4年度都市計画基礎調査

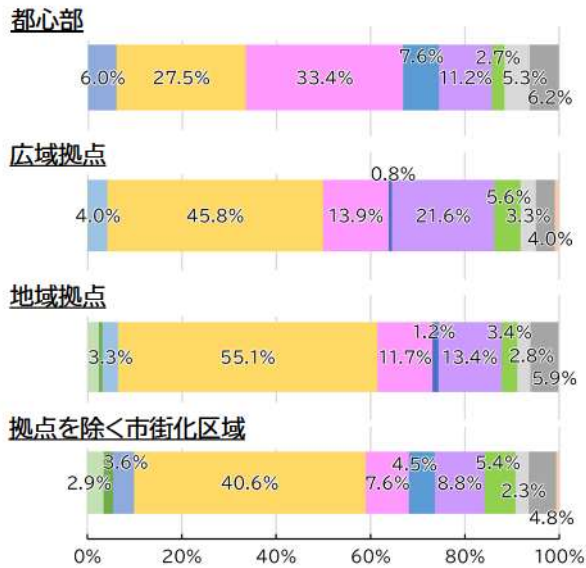
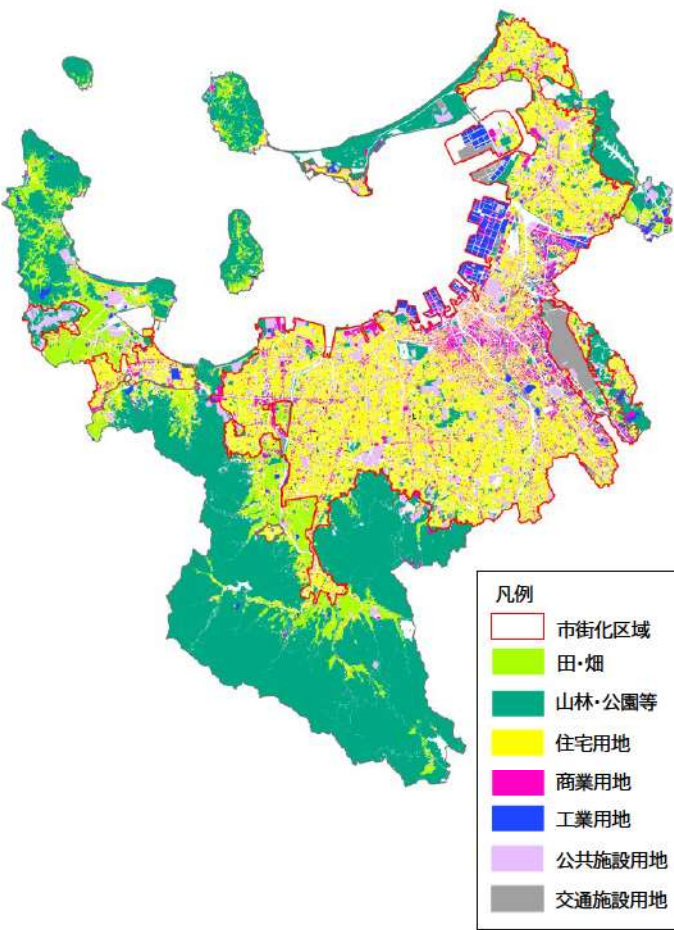
【参考】都市計画制度の構造



■ 土地利用

(1) 土地利用の状況

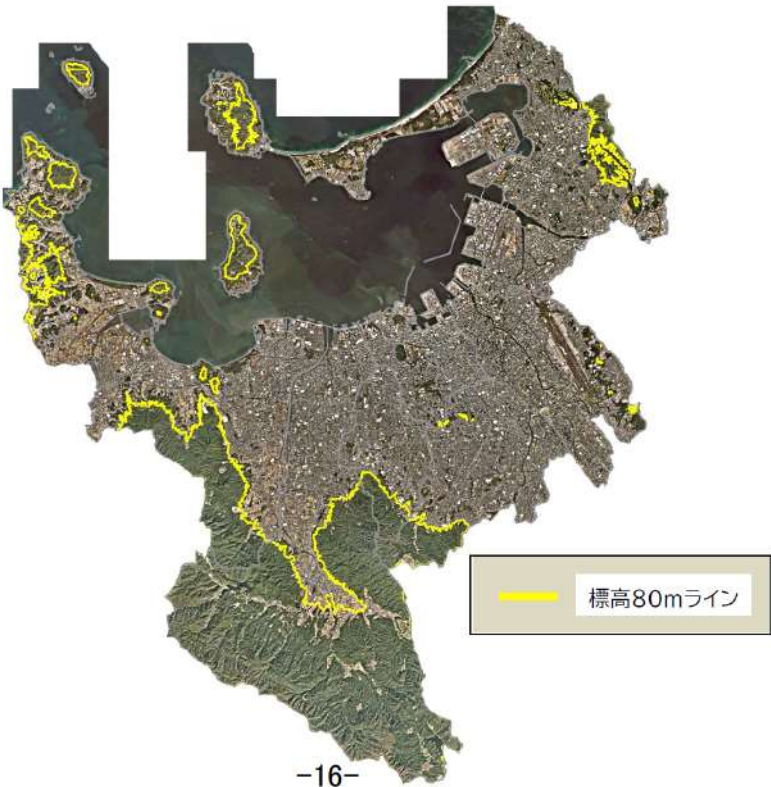
・ 都心部や拠点に商業用地が集中し、その周辺は主に住宅用地として利用。



資料：令和4年度都市計画基礎調査

(2) 自然環境の保全

・ 標高が概ね80m以上の区域などは、自然環境を保全。



(3) 生活サービス施設の徒歩圏カバー率

- 生活サービス施設は、他の政令市などと比較して、市内人口を広くカバーする配置。

◇ 生活サービス施設の徒歩圏(800m) 市町村人口カバー率

	福岡市(R2)	政令市	全国平均
病院・診療所(福岡市以外H26)※1	97.6%	91.0%	62.3%
福祉施設(福岡市以外H27)※2	96.2%	90.0%	41.0%
保育所(福岡市以外H27)※3	93.0%	79.8%	43.6%
商業施設(福岡市以外H26)※4	89.8%	77.1%	40.5%

※共通 : 圏域内人口を都市の総人口(保育所は0~4歳)で除して算出

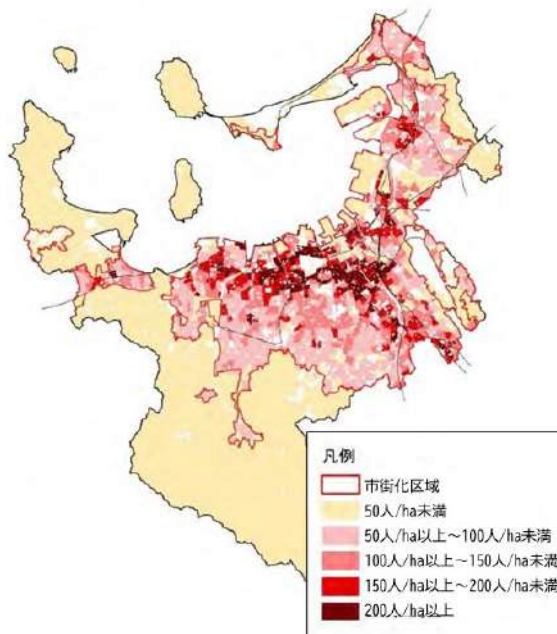
※1 : 病院・診療所で内科または外科を有する施設

※2 : 通所系・訪問系施設及び小規模多機能施設

※3 : 0~4歳人口

※4 : 専門・スーパー、百貨店

◇ 人口密度

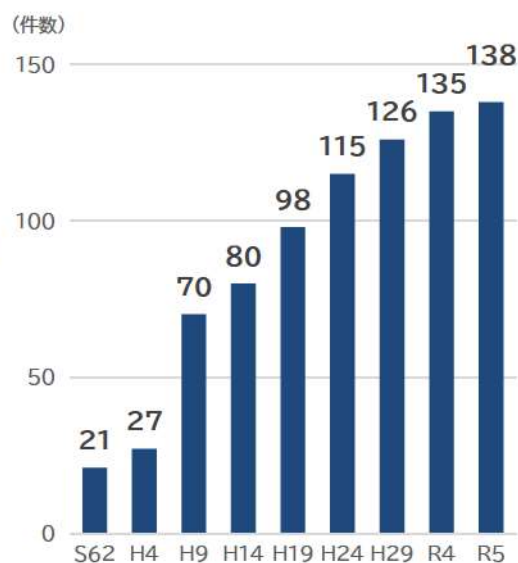
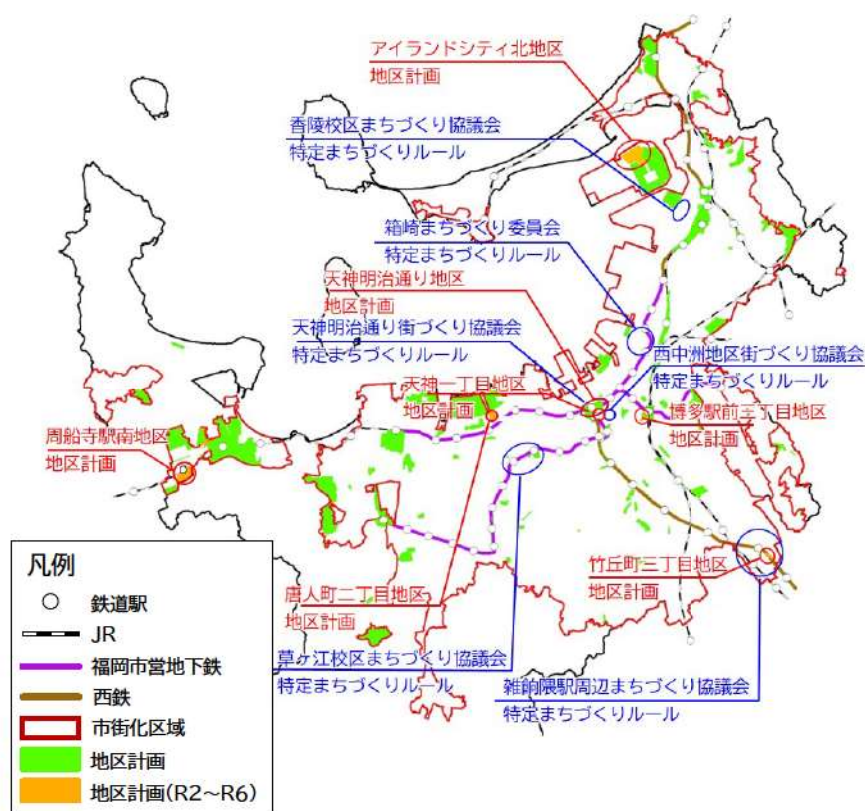


(4) 地区計画等による良好な市街地環境の形成

- 市街化区域編入や用途地域変更などとあわせて、地区計画を決定しており、地区計画の数は増加。

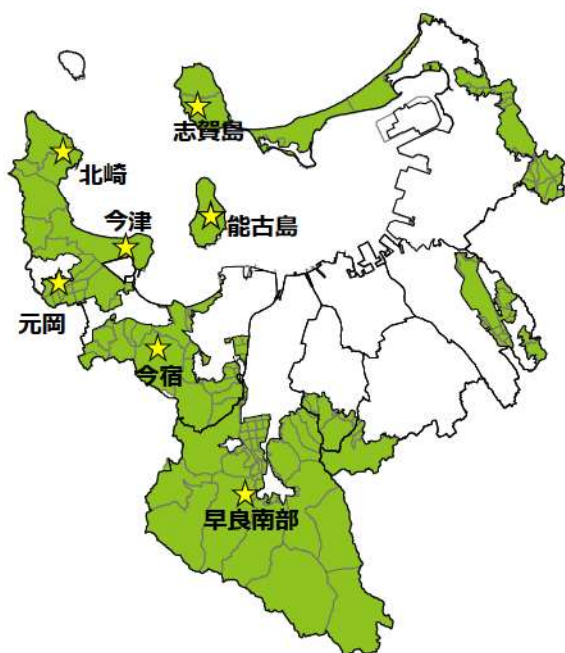
◇ 地区計画(直近5年)及び特定まちづくりルール決定状況

◇ 地区計画数の推移



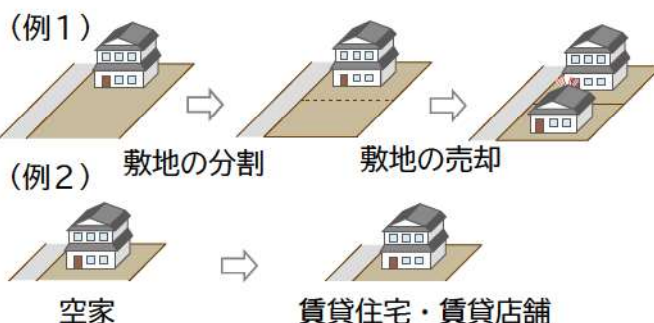
(5) 地域コミュニティの維持・活性化に向けた定住化促進等

- ・ 既存集落の地域コミュニティの維持を目的として、定住化の促進に向けた地域の実施を支援。



★ : 定住化の促進に向けた取り組み実施地域
 ■ : 市街化調整区域

◇ 区域指定型制度を活用した取り組み例



◇ 空き家改修費補助制度



(6) 自然を生かした取り組み

- ・ 海辺の魅力や地域産業振興施設の立地等により、地域の観光振興・活性化を推進。

◇ Fukuoka EAST&WEST COAST



海辺の観光周遊コースの形成



豊かな自然環境と調和した道づくり (無電柱化、歩道の美装化)



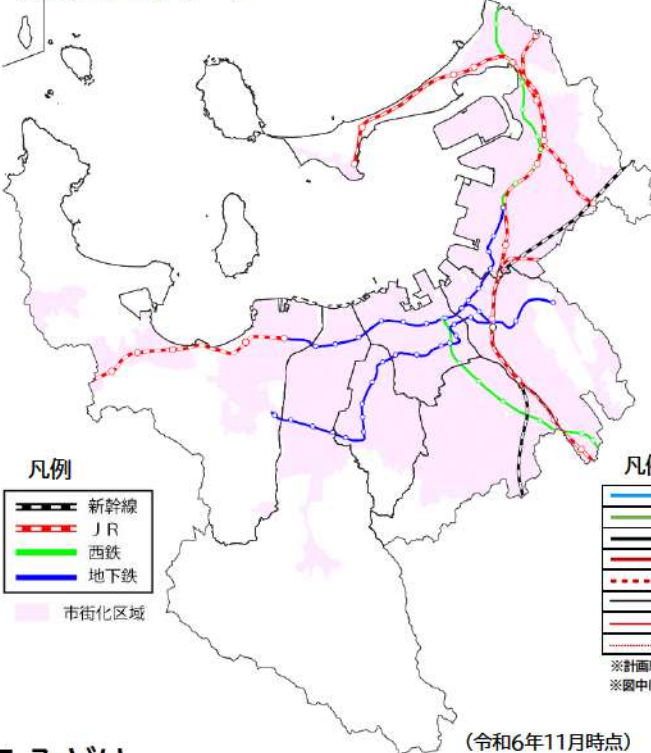
◇ 地域産業振興施設の立地



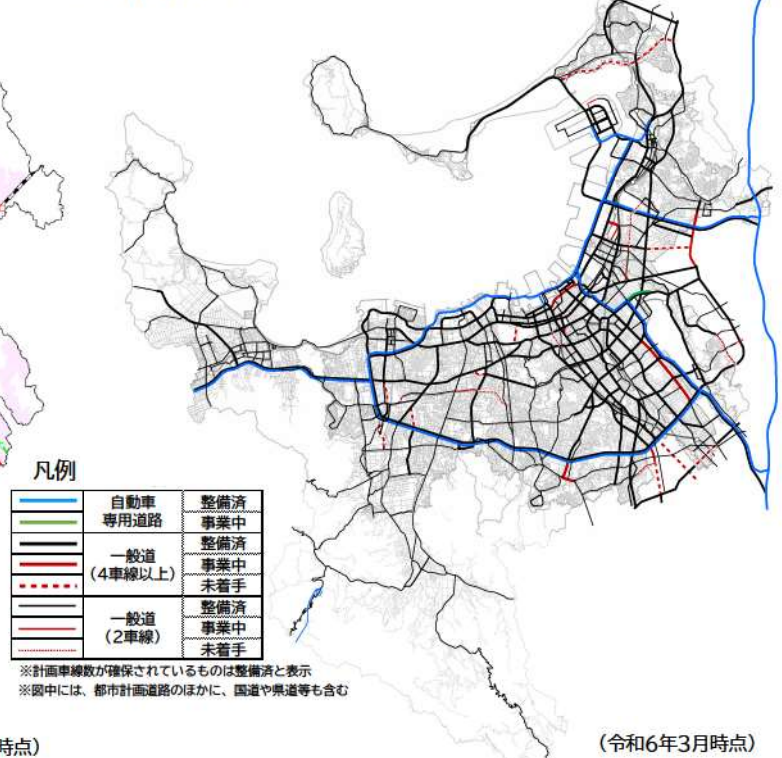
交通体系

- ・鉄道やバスによる公共交通ネットワークが形成。
- ・福岡外環状道路や都市高速道路等により放射環状型の幹線道路ネットワークが概成。

◇ 鉄道ネットワーク



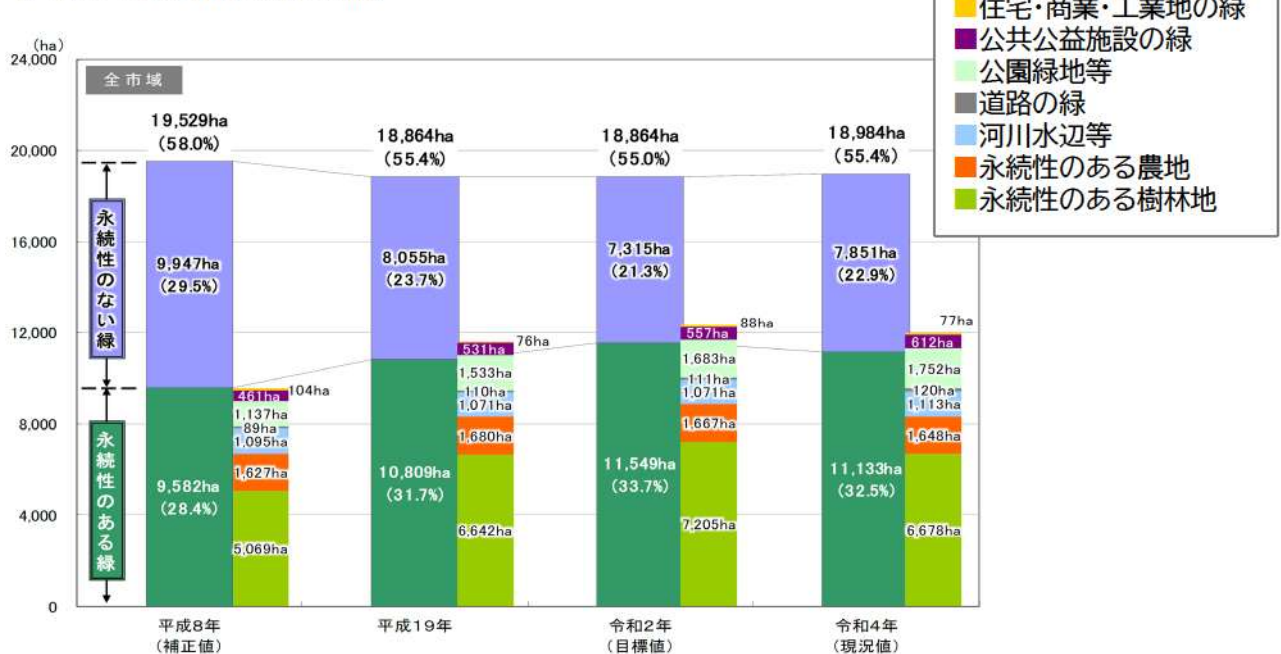
◇ 道路ネットワーク



みどり

- ・全市域における緑の面積は、開発等による農地等の減少を、公園緑地等の整備による緑の創出などにより、維持することができている。

◇ 市域全体における緑の面積



資料: 令和4年度緑の現況調査結果

■ 景観

- 計画的なまちづくりにあわせ、都市景観形成地区を指定するなど、景観づくりを推進。

◇ 都市景観形成地区の指定状況

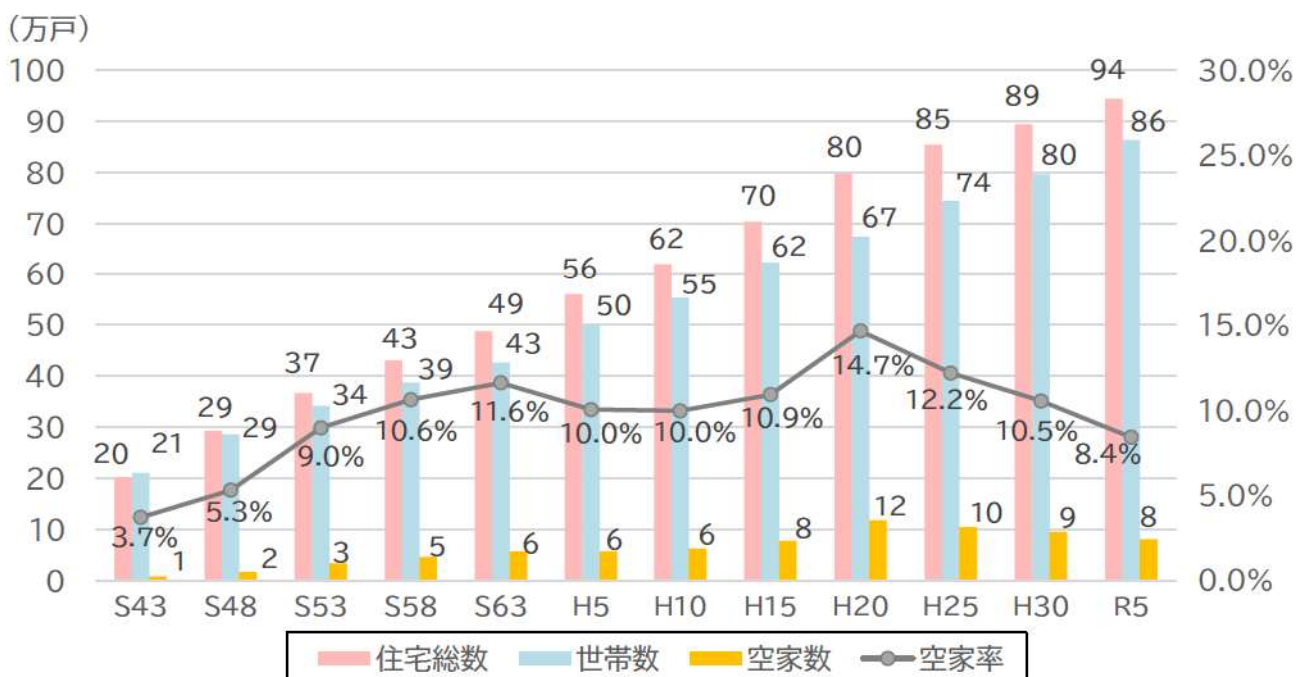


資料：福岡市景観計画

■ 住宅市街地

- 住宅総数は約94万戸で、世帯数の増加に合わせて年々増加し、空家数は近年減少傾向。

◇ 住宅ストック数等の推移



資料：住宅・土地統計調査

自由記述意見の主な内容（現都市計画マスタープランの「基本理念」と関連が深いと考えられる意見を記載）

基本理念1 交流を育み、都市の成長を図る都市づくり

基本方向1	九州・アジアの交流拠点都市の形成
基本方向2	都市の活力を牽引する都心部の機能強化

経済振興、都心部（299件）

分類	主な意見
企業誘致 雇用創出 働き方	◆ 日本で最も新しいビジネスが集まる場所（40代・城南区） ◆ 有力な企業が誘致され、故郷を捨てずに活躍できる環境（30代・早良区） ◆ 理系で勉強した子どもたちが働く場所の充実（50代・城南区） ◆ 福祉職や保育士等の収入が増えるようにしてほしい（50代・早良区） ◆ リモートワークやフレックスタイム制などの多様な働き方を推進（20代以下・南区）
観光 レジャー施設 商業施設	◆ 福岡を象徴するランドマークがほしい（20代以下・中央区） ◆ 福岡城の天守閣を再建してほしい（30代・中央区） ◆ 大型テーマパークを作してほしい（30代・博多区） ◆ 商店街は残してほしい（40代・中央区）
農林水産業	◆ 農業や漁業など食の中心を担う人たちが力を発揮できる社会（60代・城南区）
都心部	◆ 天神に図書館を作してほしい（50代・城南区） ◆ 誰もが利用できる都会のオアシスみたいな緑多い場所（70代以上・中央区）

交通（445件）

分類	主な意見
総論	◆ 市内隅々、交通の不便さの不平等を少しでもなくしていく福岡市（70代以上・東区） ◆ 鉄道のネットワークを、もっと充実させてほしい（50代・西区） ◆ バスの本数を増やしてほしい（60代・早良区） ◆ 自宅から最寄りの駅までのアクセスが近い（50代・博多区） ◆ 高齢者が「運転しなくてもよい」と思えるような環境づくり（50代・中央区） ◆ 交通機関のタッチ決済を普及させてほしい（20代以下・南区） ◆ 公共交通の混雑緩和が必要（20代以下・博多区） ◆ 市内中心部への交通流量の減少に向けた対策（40代・南区）
各論	◆ 南区にも地下鉄を通してほしい（50代・南区） ◆ 地下鉄の姪浜駅と橋本駅を繋げてほしい（50代・西区） ◆ ドームや国際会議場へのアクセス（50代・城南区） ◆ アイランドシティへの交通の便をもっと便利に（30代・東区） ◆ 空港の国際線に地下鉄で行けるようにしてほしい（40代・中央区）

国際（59件）

分類	主な意見
国際化 共生	◆ 世界の人々が来てよかった、住んでみたいと思えるまち（40代・中央区） ◆ 外国人が日本人のコミュニティでも自然に馴染める社会（20代以下・早良区）

文化芸術・スポーツ（160件）

分類	主な意見
文化芸術	◆ 音楽やアートなどの芸術が街中で楽しめる（40代・南区） ◆ 美術館や博物館にもっと力を入れてほしい（30代・博多区） ◆ コンサートホール、ライブハウス、大中小の会場（40代・中央区） ◆ 本に気軽にアクセスしたい（30代・南区）
スポーツ	◆ 自由に気軽にスポーツを楽しめる施設をたくさん作してほしい（40代・西区） ◆ ランニング・ウォーキングコースの距離表示を増やしてほしい（40代・東区） ◆ 日本代表戦もできるような球技専用のフットボールスタジアム（30代・東区）

基本理念2 地域の特性を生かし、生活の質を高める都市づくり

基本方向3 都市基盤を活用した地域の核となる拠点機能の強化

基本方向4 高齢者をはじめ、すべての人が快適で住みやすい日常生活圏の形成

地域コミュニティ（86件）

分類	主な意見
コミュニティ	◆ コミュニティでお互い声をかけ合い、困った時にすぐ助け合えるようなまち（40代・南区） ◆ 高齢者や子育て世帯が孤立せず、安心して暮らせる地域コミュニティ（50代・西区） ◆ 利害関係のない人同士の交わりが日常的にできる第3の居場所（60代・早良区） ◆ 公民館を中高生の自習や高齢者の買い物など便利に使えるように（40代・博多区）

ユニバーサルデザイン、健康、福祉（504件）

分類	主な意見
多様性 バリアフリー	◆ 多様な人が自分らしく生きられるためのまちづくり（20代以下・南区） ◆ 自由に選択ができる福岡市（70代以上・城南区） ◆ 「お先にどうぞ」が当たり前の優しい市（40代・南区） ◆ 1人でがんばって生活している人にも優しい福岡（30代・城南区） ◆ 歩道の段差をなくし、自転車やベビーカー、車椅子でも安心して（50代・中央区） ◆ 歩くのが楽しいまち（50代・中央区）
女性	◆ 女性が社会に出てもっと活躍できるように（30代・中央区） ◆ 生物学的に力の弱い女性や子どもたちを守る配慮（30代・早良区）
高齢者 障がい者	◆ 70代になっても柔軟に仕事ができるシステムや意識づくり（60代・城南区） ◆ 老後でも安心して暮らせる福岡市（40代・西区） ◆ 介護することも幸せに感じられる福岡市（40代・博多区） ◆ 高齢者になった時に生活できる場所の選択肢がたくさん持てること（40代・西区） ◆ 心身に障がいのある人が得意な面を活かして活躍できる場づくり（40代・西区）

子ども、教育（652件）

分類	主な意見
子育て支援	◆ 保育園、幼稚園から大学まで教育費の無償化（40代・博多区） ◆ 子育て支援の所得制限を無くしてほしい（30代・早良区） ◆ 子どもを産む=お金と時間がとられるというイメージが変わるような支援（20代以下・東区） ◆ 子育て女性のキャリア形成がしやすい社会（40代・南区） ◆ 安心して子育てと仕事が両立できる環境（20代以下・南区） ◆ 保育園の多様化（30代・市外居住）
子ども支援	◆ 子どもたちがのびのび遊べるところがほしい（60代・東区） ◆ 自分が感じている以上の幸せを子どもたちが感じることができる福岡市（40代・南区） ◆ 子や孫が大人になるのを楽しみに思える様に（70代以上・早良区） ◆ 子どもが大人になった時も住み続けて結婚子育てをしたいと思えるまち（20代以下・早良区） ◆ 障がいのある子でもいろいろな選択肢ができる社会（40代・南区）
教育	◆ 実際の社会での活躍に繋がりがあがる教育（30代・中央区） ◆ 子どもが自分のやりたい事にむけて学べる場所（40代・西区） ◆ 教員を「笑顔で元気に働く大人」にしてほしい（50代・中央区） ◆ 不登校の子の居場所を学校以外で増やしてほしい（40代・西区） ◆ 小学校、中学校の学区制を廃止して選択制にしてほしい（30代・東区）

基本理念3 自然環境と共生し、安全・安心な暮らしができる都市づくり

基本方向5 環境負荷の少ない都市空間の形成

基本方向6 災害に強く安全な都市空間の形成

環境、自然（158件）

分類	主な意見
環境 自然 緑・公園	◆ 再生可能エネルギーや EV の推進（20代以下・城南区） ◆ リサイクルをもっと身近に簡単にできるようにしてほしい（40代・南区） ◆ 自然を生かしたまちづくり（30代・西区） ◆ ほどよく都会でほどよく田舎っぽさが残るまち（70代以上・東区） ◆ 花や緑に溢れたまち（50代・南区） ◆ 幅広い年齢層の憩いの場となる公園（20代以下・中央区）

防災、都市基盤（161件）

分類	主な意見
防災 道路整備 住宅	◆ 災害、有事に備えるまちづくり（50代・中央区） ◆ 子供でも老人でも安心して安全に歩ける道路整備（50代・東区） ◆ 自転車で移動しやすい道路整備（30代・博多区） ◆ 電信柱のないまちづくり（40代・南区） ◆ 独り身の高齢者が安心して住める住居（50代・東区） ◆ 住みたいところに安価で安心して住める（40代・南区）

防犯、モラルマナー（155件）

分類	主な意見
防犯 モラル・マナー	◆ 犯罪や事故が少ない安心して住めるまち（60代・西区） ◆ 防犯カメラの設置を増やして犯罪を抑止（40代・博多区） ◆ 自転車への交通の取り締まりを強化してほしい（40代・西区） ◆ 歩きタバコやポイ捨てのないまち（40代・東区） ◆ 動物と一緒に暮らせる場所（60代・南区）

その他

その他（636件）

分類	主な意見
その他	◆ 古き良きものを残しつつ進化してほしい（40代・博多区） ◆ 自然や食べ物、お祭りなど地域の特性を活かした福岡らしいまちづくり（60代・城南区） ◆ 九州全体発展のキーマン（40代・中央区） ◆ 福岡都市圏としての成長戦略が必要（60代・早良区） ◆ デジタル技術の活用で、さまざまな便利で生産性の高い社会（50代・城南区） ◆ 必要な人が必要な情報を受け取りやすい環境（40代・中央区） ◆ 次世代のチャレンジを応援できるまち（30代・東区） ◆ 美しい建物を建て並べ、緑豊かな街並みを誇るまちづくり（60代・早良区） ◆ 物価高を抑えて労働賃金を増やす（50代・博多区） ◆ 都市部ばかりではなくて郊外の方にも目を向けてほしい（30代・東区） ◆ 行政などに声が届きやすい社会（60代・南区） ◆ 行政での相談が一つの窓口で全て完結できるシステム（50代・東区） ◆ 2050 年以後も持続可能なまちづくり（50代・東区） ◆ 大好きな福岡市。老若男女住み良いまちであり続けてほしい（50代・城南区）

九州・アジアの交流拠点都市の形成

- ・ 交流や活力は、福岡を牽引する上で重要なポイント。
- ・ 空港からの公共交通がわかりやすく、シームレスに繋がっていることが、観光振興にとって大事。
- ・ 人流だけでなく、物流も含めた港湾機能についても検討が必要。
- ・ 福岡市は第二次産業が発展しておらず、理系の雇用を生むような土地利用は考えておくべき。
- ・ 観光資源の創出に民間活力を活用できるような仕組みづくりも考えておくべき。
- ・ 保全すべきものは保全しながら、開発とのバランスに知恵を絞ってもらいたい。
- ・ 志賀島・北崎については、観光振興だけでなく、景観を守るルールづくりも必要。
- ・ 無電柱化を都心部のほかにも、幹線道路沿いや主要な観光スポットでも進めて、クオリティの高いまちになってもらいたい。
- ・ お寺などの歴史資源を大事にすることは重要な取組みであり、見え方などに配慮したルールづくりは大事。

都心部の機能強化

- ・ この10年間で、天神ビッグバンなどの計画が進み、福岡市が躍動する姿を見せている。
- ・ オープンスペースや緑地の役割を都市機能として記載することが大事。
- ・ 交通について、福岡の魅力を伸ばすため、ウォーターフロント地区などでできることがないかを検討してはどうか。

地域の核となる拠点の機能強化

- ・ 将来的には人口は減少する中で、当面の人口増加の受け皿となるようなマンションの建替促進策が必要。
- ・ 拠点において高い緑化率の再開発を誘導するといった視点も必要。
- ・ 乗務員不足などにより、バスネットワークの維持が困難になっており、幹線としての鉄道、フィーダーとしてのバスといった役割分担の明確化が必要。
- ・ 生活の質の向上のためには、生活者の視点からバス路線や交通拠点の利便性などの確認が必要。

日常生活圏の形成

- ・ 生活の質を高めるという意味では、拠点以外の住宅地も大切。
- ・ 拠点や拠点以外の住宅地などに誘導する施設について検討できないか。
- ・ 少子化に対応する観点からも、若者が暮らしやすいまちづくりの検討が必要。
- ・ 高齢者だけでなく、次世代を担う子どもの視点は大事。
- ・ 大都市ならではのかもしれないが、日常生活圏で自分たちの街を良くしようという熱意や活動が少ないように感じる。
- ・ 地域コミュニティの維持については、地域に住んでいない人も含めたコミュニティづくりが大事。
- ・ 一律に人口が増加するのではなく、人口が減少する地区もあるので、個別に対応していくことも必要。

環境にやさしく みどり豊かな都市の形成

- ・ 質の高い緑地は、周辺のアセットの向上にもつながるため、都市経営の観点から、もう少し緑の質に着目しても良い。
- ・ 交通は炭素排出の約3分の1を占めており、交通のさらなる効率化が必要。
- ・ 住宅への太陽光パネルの設置を促進するという可能性もあるのではないかな。
- ・ 市全体のエネルギー消費量は下がっているが、古い建物は残るため、断熱改修などの誘導が必要。
- ・ 生物多様性の観点から、外来種への対応について検討が必要。

災害に強く 安全・安心な都市空間の形成

- ・ インフラの老朽化が進んでおり、整備だけではなく、更新などの言葉も入れておいたほうが良い。
- ・ 豪雨については、周辺の都市化が進むほど、河川の下流にある福岡市の負担が大きくなるため、広域的な視点で見ておいた方が良い。
- ・ 豪雨による内水氾濫に対して、都市の農地をある程度保全することも考えておいた方が良い。
- ・ 地震については、これまでの取組みを継承してしっかり取り組んでいく必要がある。
- ・ 災害ハザードエリアについては、個別にリスクを評価して見極めるべき。
- ・ 災害におけるレジリエンスの観点では、コミュニティのつながりが重要。
- ・ 災害についても、多様な人に対する優しさや安全・安心といった観点があってもよい。

その他

- ・ 将来の人口減少を見越した上で、人口の増加と減少を一緒に考えることが重要であり、都市圏を含めた都市づくりについて検証が必要。
- ・ 九州の人口維持などの観点も含めて、九州における福岡市の位置づけという視点は持っていた方が良い。
- ・ 福岡市の課題は、混雑緩和などの従来の視点が次の10年も中心になるではないかな。
- ・ 優秀な人材を福岡が吸引していくためには、生活環境の良さなど、東京にはない地方都市ならではの良さが重要。
- ・ 国際都市として外国人の生活環境を整えるなど、外国人の人口動向も踏まえて手を打っていくことが大事。
- ・ 単独世帯の増加は、若者か高齢者かによって政策の方向性は違ってくる。
- ・ 様々な世代の幸福度を高めていくような都市づくりができれば良い。
- ・ 近年のトレンドとなっている、SDGsやWell-beingなどのキーワードは盛り込んだ計画にしてもらいたい。
- ・ 都市の魅力や生活の質を高められるように、新しい技術を活用していくことが大事。
- ・ 都市関連のデータをオープンデータ化し、民間の方が使いやすくすることは大事。
- ・ 市民が都市計画マスタープランを見たときに、福岡の街がどうなるのかなどが分かるように、イメージを出しても良い。